

アンケート調査ご協力をお願い

このアンケート調査は、平成26年度石油ガス販売事業者構造改善支援事業として、資源エネルギー庁より委託を受けて、ディーゼルトラック燃料を軽油とLPガスの混焼とすることで次世代トラックとしての実用化に向けた基礎資料となるものです。

今、トラック燃料として有効なものは軽油が主流ですが、軽油だけに頼ることでは越えられないいくつかの問題があります。それは、①燃料価格の高騰、②環境対策（CO₂削減）、③災害時等における危機管理対策などですが、新たな混合燃料（デュアルフューエル）トラックが必要ではないかとの観点から検討をしています。そこで、皆様方のご意見を参考にさせていただきたく存じます。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、別記アンケートへのご協力をお願い申し上げます。なお、当アンケートにご回答いただきましたお客様には、粗品をご用意させていただいております。

ご多用中恐れ入りますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

LPガスとディーゼルのデュアル・トラック委員会
資源エネルギー庁支援事業者

真剣な経営者様の貴重なご意見

御社の事を教えてください。

Q 1 . 本社の所在地を教えてください。

- 北海道 東北 北陸信越 関東 東京都内
中部 近畿 中国 四国 九州

Q 2 . 営業所の所在地を教えてください。(複数回答可)

- 北海道 東北 北陸信越 関東 中部
近畿 中国 四国 九州 海外

Q 3 . 御社の所有する車両の台数を教えてください。

- 10台以下 11~20台 21~50台 51~100台 100台以上

Q 4 . 御社の所有車両の種類を教えてください。

- ディーゼル車 LPG車 天然ガス車 (NGV) 電気自動車 (EV)
ガソリン車 バイフューエル車 (2種類以上の燃料を切替えて使う車)

Q 5 . 配送地域を教えてください。

- 幹線輸送 区域内輸送 幹線輸送と区域内輸送

Q 6 . 300km以上走行の長距離輸送の頻度は、どのくらいですか？

- 車両数_____台 1か月に_____回 ほぼ走行しない

Q 7 . 燃料費が営業収益に占める割合は、毎年上昇していて、40%近くになる事業者も存在しています。御社の燃料費の割合をわかる範囲で教えてください。

- 10%程 15%程 20%程 25%程
30%程 35%程 40%程 45%程

Q 8 . 燃料費を削減するために実施している事があれば教えてください。(いくつでも)

- 車両メンテナンス 燃費の良い車を購入 タイヤの空気圧チェック
一番安いスタンドで給油 エコドライブ 動態管理システムの活用
デジタコの活用 燃料の組合共同購入 メーカー指導の装置を活用
その他_____

Q 9 . 現在、下記の中から経営情報を得ていますか？(いくつでも)

- インターネット ラジオ 雑誌・専門誌 一般紙・業界紙
展示会 テレビ 業界の集まり・セミナー 全トラ「広報とらつく」等
その他_____

Q 10 . 大震災など災害時の緊急輸送が必要な場合、燃料の軽油不足の懸念があるので所有車両の燃料の多様化はした方がいいと思いますか？

- はい いいえ わからない

あと10問ありますのでご協力ください。



今回ご紹介しているトラックのことについて教えてください。



Q11. ディーゼルトラックにLPガスを添加するデュアルフューエルシステムを既にご存知でしたか？

- よく知っている 名前は聞いたことがある いいえ



Q12. この車は公認車検を受けた改造車ですが改造車のデメリットは何だと思いますか？
(いくつでも)

- 改造費が高い メーカー保証が無い 修理が遅い 故障が多い
信頼性が薄い イメージが悪い 保険の問題 手間が増える
その他 _____



Q13. 現在、特殊架装を含めた改造車はお待ちでしょうか？

- はい。具体的に _____ いいえ



Q14. もし、このトラックを導入する場合、優先順位の高い項目を3つ選択してください。

- | | | | |
|----------------|-------|--------------|-------|
| ・ 経済的メリット | _____ | ・ 従業員からの高い評価 | _____ |
| ・ CO2削減 | _____ | ・ 排ガスがクリーン | _____ |
| ・ 社会貢献 (CSR) | _____ | ・ 自己満足 | _____ |
| ・ 事故防止 | _____ | ・ 従業員の安心・安全 | _____ |
| ・ 災害時に強い | _____ | ・ 宣伝効果 | _____ |



Q15. もし、所有している小型トラックをデュアルフューエルシステムに改造した場合、あと何年乗り続けたいですか？

- 改造してから2~3年 (海外平均) 改造してから _____ 年



Q16. 何年で改造費用を回収出来たらこのトラックの導入を検討しますか？

- 1年 2年 3年 4年 5年



Q17. 改造費用を援助する補助金は必要だと思いますか？

- 絶対に必要 あったらよい 必要ない どちらとも言えない



Q18. どのくらいの燃料費が最低削減できたらこのトラックの導入を検討しますか？

- 10%程 15%程 20%程 25%程 30%程



Q19. 現在、購入しているトラックでの不安 (価格、車両の問題など) は、ありますか？

- ある 少しある 無いと思う 全く無い

Q20. 本日のプレゼンのご感想をお聞かせください。



今後、更なる情報交換をさせて頂く為にご連絡してもよろしいですか？ はい いいえ



名前： _____ 御社名： _____



電話番号： _____ E-mail: _____

ご回答いただいた内容は「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本補助事業の目的にのみ使用し、厳正な管理の元集計・分析を行った上、ユーザーニーズ把握への目的のみに使用し、本調査の目的以外には一切使用いたしませんのでよろしくご協力の程お願い致します。